

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-69935
(P2003-69935A)

(43)公開日 平成15年3月7日(2003.3.7)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
H 0 4 N 5/907		H 0 4 N 5/907	B 5 B 0 8 2
G 0 6 F 12/00	5 2 0	G 0 6 F 12/00	5 2 0 P 5 C 0 2 2
H 0 4 N 5/225		H 0 4 N 5/225	F 5 C 0 5 2
5/228		5/228	Z
// H 0 4 N 101:00		101:00	
審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 9 頁)			

(21)出願番号 特願2001-253520(P2001-253520)

(22)出願日 平成13年8月23日(2001.8.23)

(71)出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72)発明者 竹村 和彦

埼玉県朝霞市泉水3-13-45 富士写真フ
イルム株式会社内

(72)発明者 市川 幸治

埼玉県朝霞市泉水3-13-45 富士写真フ
イルム株式会社内

(74)代理人 100075281

弁理士 小林 和憲

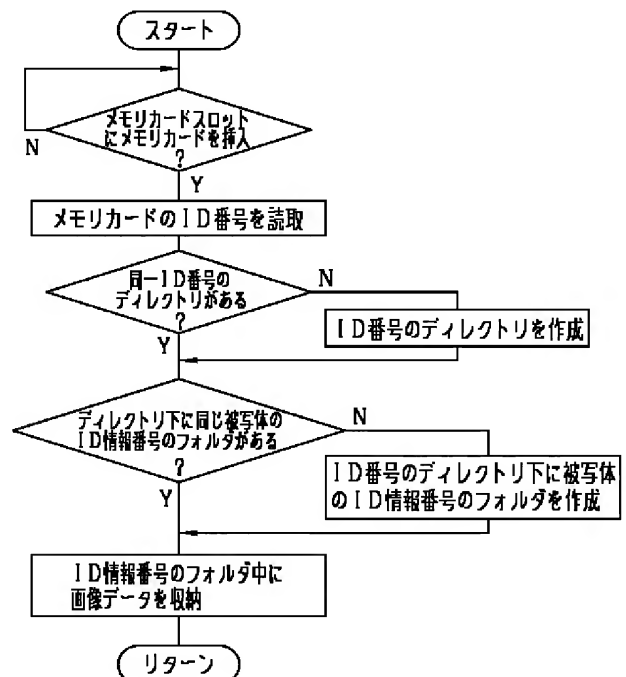
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 画像データの分類保存方法

(57)【要約】

【課題】 面倒な手間をかけることなく画像データを自動的に分類保存する。

【解決手段】 画像データのタグに被写体のID情報を書き込んだメモリカードをコンピュータのメモリカードスロットに挿入すると、メモリカード固有のID番号が読み取られ、内蔵ハードディスクのルートディレクトリ下に、このID番号のディレクトリがあるか否かが調べられ、ない場合には作成される。このID番号のディレクトリ下に被写体のID情報番号毎にフォルダを作成し、この中に画像データをそれぞれ保存する。既にID情報番号毎のフォルダが存在する場合には、各フォルダ内に画像データを保存する。これにより、顧客のメモリカード毎、被写体毎に画像データが自動分類して保存され、メモリカード固有のID番号や被写体のID情報により素早く画像データを検索、抽出して利用できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 デジタルカメラに装填して使用され、撮像時の画像データが記録される記録メディアに固有のID情報を予め付与しておき、記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、記録メディアから読み出されたID情報とともに外部記憶手段に個別のフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存することを特徴とする画像データの分類保存方法。

【請求項2】 デジタルカメラの内蔵メモリまたはデジタルカメラに外部メモリとして着脱される記録メディアに撮像で得られた画像データを記録する際に、画像データごとにユーザ固有のID情報を記録しておき、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報とともに外部記憶手段に個別のフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存することを特徴とする画像データの分類保存方法。

【請求項3】 デジタルカメラの内蔵メモリまたはデジタルカメラに外部メモリとして着脱される記録メディアに撮像で得られた画像データを記録する際に、被写体となった人物が身に付けた信号部材からその人物固有のID情報を採取してその画像データに対応づけて記録し、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報とともに外部記憶手段にフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類して該当するフォルダに保存することを特徴とする画像データの分類保存方法。

【請求項4】 内蔵メモリまたは記録メディアから読み出した画像データを外部記憶手段に記録する際には、内蔵メモリまたは記録メディアから読み出されたID情報、または画像データとともに読み出されたID情報に対応するフォルダが外部記憶手段にすでに作成されているか否かを検索し、該当するフォルダがある場合には、そのフォルダに新たな画像データを追加して保存することを特徴とする請求項1ないし3いずれか記載の画像データの分類保存方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、面倒な手間をかけることなく画像データを自動的に分類保存できる画像データの分類保存方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、CCD等の固体撮像素子を用いて光学画像を電気信号に変換し、これをデジタルの画像データとしてメモリカード等の記録メディアに保存するデジタルカメラが数多く市販されている。このようなデジ

タルカメラを頻繁に用いるようになると、記録メディア内に多数の画像データが蓄積されるため、パーソナルコンピュータ（以下パソコンという）に画像データを移して管理する必要に迫られてくる。

【0003】個人が自分で撮像した画像データを自分のパソコンで分類管理するには、自分が分かるように名前を付けて作成したフォルダに画像データを収納すればよい。しかしながら、業者が顧客から画像データを預かって分類管理する場合には、量が膨大になるため、画像データの分類保存を自動化もしくは省力化する必要がある。

【0004】例えば、特開2000-358205号公報には、録音機能を有するデジタルカメラを用い、撮像を行う際にキーワードを音声入力しておき、画像データと音声データとが記録された記録メディアをセットすると、音声データのキーワードに基づいて自動的に画像データの分類保存が行われ、画像データを文字や音声で検索できる画像分類方法が記載されている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記公報記載の方法では、撮像する際に音声入力を行う必要がある。撮像と音声入力は全く別種の行為であり、これらを同時又は相前後して行うことは、多大なストレスとなる。特に、連続して多くの枚数を撮像する場合には、面倒な作業を強いられることになり、撮像だけに集中できなくなる。また、厳かな結婚式等のシーンでは、音声を発すること自体が憚られるため、キーワードの音声入力そのものが不可能となる。

【0006】本発明は、上述したような音声入力等の面倒な手間をかけることなく画像データを自動的に分類保存できる画像データの分類保存方法を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の画像データの分類保存方法は、デジタルカメラに装填して使用され、撮像時の画像データが記録される記録メディアに固有のID情報を予め付与しておき、記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、記録メディアから読み出されたID情報とともに外部記憶手段に個別のフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存するものである。

【0008】また、デジタルカメラの内蔵メモリまたはデジタルカメラに外部メモリとして着脱される記録メディアに撮像で得られた画像データを記録する際に、画像データごとにユーザ固有のID情報を記録しておき、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報とともに外部記

10

20

30

40

50

憶手段に個別のフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存するものである。

【0009】また、デジタルカメラの内蔵メモリまたはデジタルカメラに外部メモリとして着脱される記録メディアに撮像で得られた画像データを記録する際に、被写体となった人物が身に付けた信号部材からその人物固有のID情報を採取してその画像データに対応づけて記録し、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して画像データ蓄積用の外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報ごとに外部記憶手段にフォルダを作成し、読み出された画像データをID情報で分類して該当するフォルダに保存するものである。

【0010】また、内蔵メモリまたは記録メディアから読み出した画像データを外部記憶手段に記録する際には、内蔵メモリまたは記録メディアから読み出されたID情報、または画像データとともに読み出されたID情報に対応するフォルダが外部記憶手段にすでに作成されているか否かを検索し、該当するフォルダがある場合には、そのフォルダに新たな画像データを追加して保存するものである。

【0011】

【発明の実施の形態】本発明を実施したデジタルカメラ1を前面側から示す図1において、カメラボディ2の前面中央部には、撮像レンズ3が設けられている。その上方には、光学ファインダの対物窓4と、オートフォーカスユニット5（図3参照）の投光部6、受光部7と、後述する個人のID情報を読み取るために電波を発信し、受信する電波発信装置の送信窓8、電波受信装置の受信窓9とが設けられている。そして、カメラボディ2の上方には、シャッターボタン10が設けられている。

【0012】デジタルカメラ1を背面側から示す図2において、カメラボディ2の側面には、例えばスマートメディア（登録商標）等のメモリカード12が着脱自在に装着されるメモリカードスロット13が形成されている。カメラボディ2の背面側には、光学ファインダの接眼窓15、バックライト付きの液晶パネル16、マルチオペレーションボタン17、電源スイッチ18及び指標19が設けられている。なお、メモリカード12には、製造時に固有のID番号が記憶されている。このID番号は、同じものがないように、多数の英字や数字を組み合わせたものが使用されるが、本実施形態では、説明を簡略化するため、IDN01、IDN02、・・・とする。

【0013】液晶パネル16は、撮像レンズ3を通して撮像される被写体画像をリアルタイムで表示する電子ビューファインダとして用いられる他、メモリカード12等に記憶されている画像データに基づいて画像を再生するモニタとしても用いられる。マルチオペレーションボ

タン17は、中央部の円盤部17aと円盤部17aの周囲に設けられたリング部17bとからなる。このリング部17bは、表面に描かれたアイコンを指標19に合わせるように回転させることにより撮像モード、再生モード等のモード切換を行う。円盤部17aは、十字キーになっており、撮像モード時には、デジタルズームのズーム操作に用いられ、また、再生モード時には、画像データの選択操作等に用いられる。

【0014】デジタルカメラ1の電氣的構成を示す図3において、撮像レンズ3の背後に固体撮像素子25が位置しており、オートフォーカスユニット5によって撮像レンズ3のピント合わせが行われると、固体撮像素子25の光電面には被写体画像が結像される。固体撮像素子25はドライバ26により光学的な被写体画像を電氣的な撮像信号に変換して出力する。なお、固体撮像素子25としては、CCDまたはCMOSイメージセンサが用いられる。

【0015】固体撮像素子25の光電面にはR、G、Bの微小なマイクロカラーフィルタがマトリクス状に配列され、色ごとにシリアルに出力される撮像信号はアンプ27で適当なレベルに増幅された後、A/Dコンバータ28によってデジタル変換される。なお、周知のようにドライバ26の駆動及びA/Dコンバータ28のサンプリングタイミングとの間には同期がとられている。

【0016】A/Dコンバータ28は撮像信号をデジタル変換して画像データを生成し、これを順次に画像データ処理回路30に入力する。画像データ処理回路30は、入力されてくる画像データに対してガンマ補正、ホワイトバランス調節などの信号処理を行う。画像データ処理回路30は、さらに処理済みの画像データを基に、NTSC方式のコンポジット信号に対応した映像信号を生成し、これをD/Aコンバータ31、アンプ32を経て液晶表示ドライバ33に入力する。液晶表示ドライバ33は液晶パネル16を駆動し、液晶パネル16には被写体画像が連続的に表示される。

【0017】システムコントローラ35は、上記画像データ処理回路30を含め、このデジタルカメラ1の電氣的な作動を全体的に管理している。システムコントローラ35は、EEPROM36、内蔵メモリ37との間でデータの授受を行う。EEPROM36には、各種のシーケンスプログラムの他、各種の補正データ、制御データ及びデジタルカメラ1固有のID情報が書き込まれている。内蔵メモリ37は、メモリカード12よりアクセス速度が速いメモリであり、撮像して得られた画像データを高速に記憶する。また、内蔵メモリ37は、ユーザがデジタルカメラ1を購入して最初に行うユーザ登録作業の際に入力したユーザ固有のID情報（名前や性別、住所等）を記憶する。

【0018】また、システムコントローラ35は、撮像と同時に電波発信装置38を駆動し、発信窓8を介して

被写体が胸部に装着しているネームプレート40に向けて所定の電波を発信する。ネームプレート40は、南アフリカ共和国の技術開発機関CSIRが開発した無線式非接触型IDタグ装置「スーパータグ」(商品名)と同様のもので、薄い金属膜で作られたアンテナ40aと、1個のIC40bからなり、IC40bの内部には被写体個人のID情報がコード化して記憶されている。

【0019】ID情報は、個人の名前や生年月日、住所等を含む他、ID情報の番号(以下ID情報番号という)を有する。このID情報番号は、同じものが存在しないように英字記号や数字を組み合わせた複雑なものとするべきであるが、本実施形態では、説明を容易にするため、ID01, ID02, ... という簡単なものとする。

【0020】ネームプレート40は、電波発信装置38から発信された電波を受信すると、その電力を内部で蓄積し、これをエネルギーとして、受け取った電波に重ねて、IC40b中に記憶されたID情報のコードを発信する。このコード発信は、電波発信装置38から電波を受信している間は、間欠的に何度も行われる。ネームプレート40から発信された電波を受信窓9を介して電波受信装置39が受信すると、このコードをID情報読取装置41が解読し、ID情報をシステムコントローラ35に送出する。

【0021】ネームプレート40からの電波を電波受信装置39が正しく受信すると、システムコントローラ35は電波発信装置38の駆動を一時的に停止する。ネームプレート40は、電波のこの変化を検知すると、自分のID情報のコードが正しく受け取られたと判断して、以後のコード送信を停止する。読み取られていない他のネームプレートは、読み取られるまでコード送信を継続する。

【0022】システムコントローラ35は、図4に示すように、撮像して得られた画像データD001, D002, ... を内蔵メモリ37の画像データフォルダ44内に記憶するとともに、この撮像直後に受信した被写体のID情報を画像データD001, D002, ... のタグ45に書き込む。なお、本実施形態では、画像データD001のデータフォーマットとして、利用者による新たな独自タグの追加機能を有するXML(extensible markup language)フォーマットを採用する。また、前記ユーザ固有のID情報は、ユーザID情報フォルダ46に記憶される。

【0023】また、本実施形態では、集合写真の画像データD001に、それぞれの胸部にネームプレート40を装着した15人の被写体47a~47oが写っており、図4に示すように、画像データD001のタグ45a~45oに、被写体47a~47oの各ID情報を書き込むが、図面が煩雑になるので、各ID情報を代表して、ID情報番号ID01, ID02, ..., ID1

5を記載している。

【0024】また、システムコントローラ35は、I/Oポート43を介して、内蔵メモリ37からメモリカード12に画像データを転送したり、またマルチオペレーションボタン17、電源スイッチ18やシャッターボタン10等からの信号を監視し、入力信号に応じた信号処理を行う。

【0025】このように構成されたデジタルカメラ1の作用及び撮像完了後の画像データの分類保存方法を説明する。デジタルカメラ1を最初に使用する際に、デジタルカメラ1に対してユーザ登録を行う。この内容であるユーザの名前や性別や住所は内蔵メモリ37のユーザID情報46に記憶される。デジタルカメラ1を使用するには、電源スイッチ18をオンにする。これにより、モード確認が行われ、マルチオペレーションボタン17のリング部17bのセット位置によって撮像モード/再生モードのいずれかに分岐する。撮像モード下では、図5のフローチャートに示すように、固体撮像素子25が被写体画像を連続的に撮像し、その画像は電子ビューファインダとして機能する液晶パネル16に表示される。

【0026】撮影者は、この液晶パネル16を観察しながら、または光学ファインダの接眼窓15を覗いてフレーミングを行い、シャッターボタン10を押し下げる。その瞬間に固体撮像素子25に結像していた被写体の光学画像が固体撮像素子25により映像信号として出力され、A/Dコンバータ28によりデジタル変換され、画像データ処理回路30により各種の処理を経た画像データD001が内蔵メモリ37の画像データフォルダ44内に記憶される。なお、予め画像データの記憶先としてメモリカード12を指定しておけば、撮像して得られた画像データD001は内蔵メモリ37ではなくメモリカード12に記憶される。

【0027】一方、シャッターボタン10の押下操作と同時に電波発信装置38から被写体に向けて電波が発信される。被写体がネームプレート40を装着している場合には、ネームプレート40が受け取った電波に重ねて、IC40b中に記憶されたID情報をコード化して発信する。この電波を電波受信装置39が受信すると、コードをID情報読取装置41が解読し、ID情報をシステムコントローラ35に送出する。

【0028】システムコントローラ35は、画像データD001の撮像直後に受信したID情報を画像データD001のタグ45に書き込む。以後同様に、撮像を重ね、画像データD002, D003, ... をメモリカード12に記憶し、ID情報がある場合には、各画像データD002, D003, ... のタグ45に書き込む。

【0029】撮像が完了したら、デジタルカメラ1のユーザ50は、内蔵メモリ37からメモリカード12に画像データD001, D002, ... 及びユーザID情

報を転送してから、図6に示すように、メモ리카ードスロット13からメモ리카ード12を抜き取って画像データ管理店51に提出する。画像データ管理店51では、画像データ管理用のコンピュータ52のメモ리카ードスロット53にメモ리카ード12を挿入する。

【0030】コンピュータ52は、図7のフローチャートに示すように、メモ리카ード12のID番号IDN01を読み取って、内蔵ハードディスク54のルートディレクトリ55下に、このID番号IDN01のディレクトリ56があるか否かを調べ、ない場合には作成する。そして、更にディレクトリ56の下に被写体毎のID情報番号ID01, ID02, ID03, ...のフォルダ57, 58, 59, ...を作成し、これらの中に画像データD001と被写体毎のID情報とユーザID情報(図示せず)をそれぞれ収納する。

【0031】既にフォルダ57, 58, 59, ...が存在する場合には、フォルダ57, 58, 59, ...の中に画像データD001と被写体毎のID情報とユーザID情報を追加収納する。これにより、顧客のメモ리카ード毎に、かつ被写体毎に、画像データを自動的に分類して記憶できるから、メモ리카ードのID番号や被写体のID情報やデジタルカメラのユーザID情報から素早く対応する画像データを検索、抽出して利用できる。

【0032】本実施形態では、ルートディレクトリ55下に、メモ리카ード12のID番号IDN01のディレクトリを作成するようにしたが、ルートディレクトリ55下に、ユーザID情報に基づいて顧客名のディレクトリを作成して、この下にメモ리카ード12のID番号IDN01を作成するようにしてもよい。

【0033】図8に示すように、一人の顧客が複数のメモ리카ード12, 61, 62を所有して被写体のID情報がない場合には、画像データ管理店51のコンピュータ52は、メモ리카ード12, 61, 62固有のID番号IDN01, IDN02, IDN03(メモ리카ードの製造時に各メモ리카ードに記憶される)を読み取り、ID番号IDN01, IDN02, IDN03毎にフォルダ63, 64, 65をハードディスク54のルートディレクトリ55下に作成して、その中に画像データD001, D002, D003, ...を収納する。

【0034】また、メモ리카ード12, 61, 62には、上記ID番号IDN01, IDN02, IDN03の他、顧客がデジタルカメラを購入してユーザ登録する際に設定した顧客自身のID情報、例えば顧客の名前や性別、住所等を記録するようにしてもよい。この場合、顧客名毎にフォルダが自動作成され、この中にメモ리카ード毎の画像データが収納されるようにしてもよい。また、この場合、顧客名毎にフォルダを作成しない場合でも、顧客名でメモ리카ードを検索することが可能になる。

【0035】また、メモ리카ード12, 61, 62に使

用したデジタルカメラのID情報を各メモ리카ードに記憶すれば、1人の顧客が複数台のデジタルカメラを所有している場合でも、顧客及びデジタルカメラ毎の分類保存することができる。

【0036】以上説明した実施形態のデジタルカメラは、集合写真の被写体それぞれが自分のID情報を記憶したネームプレートを着し、これに電波を当てることにより各被写体のID情報を読み取るようにしたが、本発明の画像データの分類保存方法は、これに限定されず、画像データ管理店や管理業者が被写体毎にID情報番号を付与するようにしてもよい。この場合、管理業者等がID情報番号毎に被写体の名前や住所等の個人情報を手入力する。

【0037】また、上記実施形態は、画像データ管理店に顧客がメモ리카ードを持ち込む例であったが、本発明はこれに限定されず、インターネットを通じて顧客が画像データを管理業者に送るようにしてもよい。この場合には、管理業者が顧客毎にID番号を付与してフォルダを作成し、この中に画像データを記憶する。また、管理業者が顧客毎に付与したID番号は、カメラ業界全体で継続的に利用することもできる。

【0038】また、上記実施形態では、1個の画像データに付加されるタグを1個とし、これに複数の被写体のID情報を書き込んだが、ID情報の数だけタグを付加して1個のタグ毎に1個のID情報を書き込むようにしてもよい。また、メモ리카ードやハードディスクのディレクトリ構造は、上記実施形態に限定されないのは勿論である。

【0039】また、上記実施形態では、画像データのフォーマット形式をXMLフォーマットとしたが、本発明はこれに限定されず、マークアップ言語であれば、HTML, SGMLの各フォーマット形式でも採用可能である。

【0040】

【発明の効果】以上のように、本発明の画像データの分類保存方法によれば、デジタルカメラの記録メディアに固有のID情報を予め付与しておき、記録メディアから読み出されたID情報ごとに外部記憶手段に個別のフォルダを作成し、記録メディアから読み出された画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存するので、面倒な手間をかけることなく画像データを自動的に分類して保存できる。

【0041】また、撮像で得られた画像データをデジタルカメラの内蔵メモリまたは記録メディアに記録する際に、画像データごとにユーザ固有のID情報を記録しておき、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報ごとに外部記憶手段に個別のフォルダを作成し、画像データをID情報で分類してそれぞれ該当するフォルダに保存するので、面倒な手

間をかけることなく画像データを自動的に分類して保存できる。

【0042】また、デジタルカメラの内蔵メモリまたは記録メディアに撮像で得られた画像データを記録する際に、被写体となった人物が身に付けた信号部材からその人物固有のID情報を採取してその画像データに対応づけて記録し、内蔵メモリまたは記録メディアから画像データを読み出して外部記憶手段に記録する際には、画像データとともに読み出されたID情報ごとに外部記憶手段にフォルダを作成し、読み出された画像データをID

情報で分類して該当するフォルダに保存するので、面倒な手間をかけることなく画像データを自動的に分類して保存できる。

【0043】また、内蔵メモリまたは記録メディアから読み出した画像データを外部記憶手段に記録する際には、内蔵メモリまたは記録メディアから読み出されたID情報に対応するフォルダが外部記憶手段にすでに作成されているか否かを検索し、該当するフォルダがある場合には、そのフォルダに新たな画像データを追加して保存するので、面倒な手間をかけることなく画像データを

【図面の簡単な説明】

【図1】デジタルカメラを前面側から示す斜視図である。

【図2】デジタルカメラを背面側から示す斜視図である。

【図3】デジタルカメラの電氣的構成を示すブロック図である。

【図4】メモ리카ードのディレクトリ構造を示す説明図である。

【図5】撮像モードのシーケンスを示すフローチャートである。

【図6】画像データ管理店のコンピュータのハードディスクのディレクトリ構造を示す説明図である。

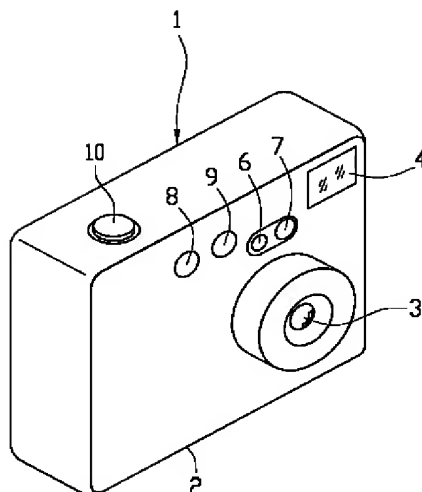
【図7】画像データ管理店のコンピュータにおけるデータ処理のシーケンスを示すフローチャートである。

【図8】メモ리카ードのID番号毎に管理する例を示す説明図である。

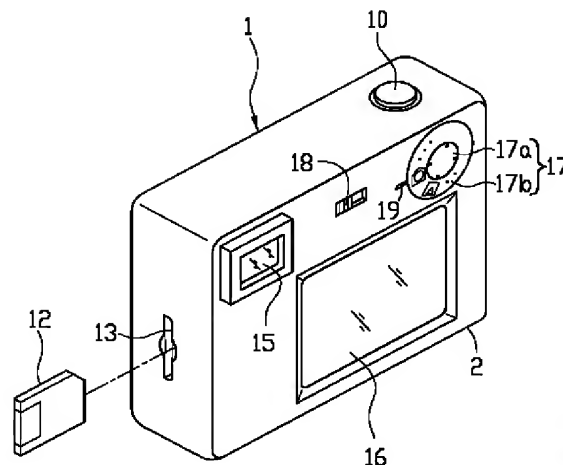
【符号の説明】

- 1 デジタルカメラ
- 12, 61, 62 メモ리카ード
- 35 システムコントローラ
- 37 内蔵メモリ
- 38 電波発信装置
- 39 電波受信装置
- 40 ネームプレート
- 41 ID情報読取装置
- 45 タグ
- 51 画像データ管理店
- 52 コンピュータ
- 54 ハードディスク

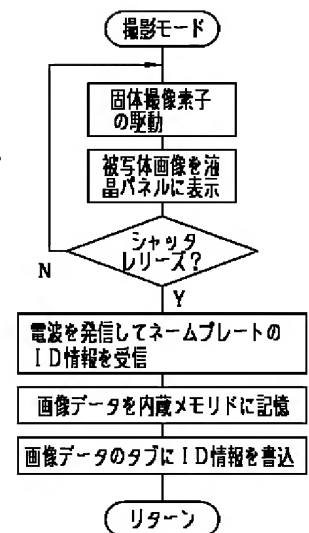
【図1】



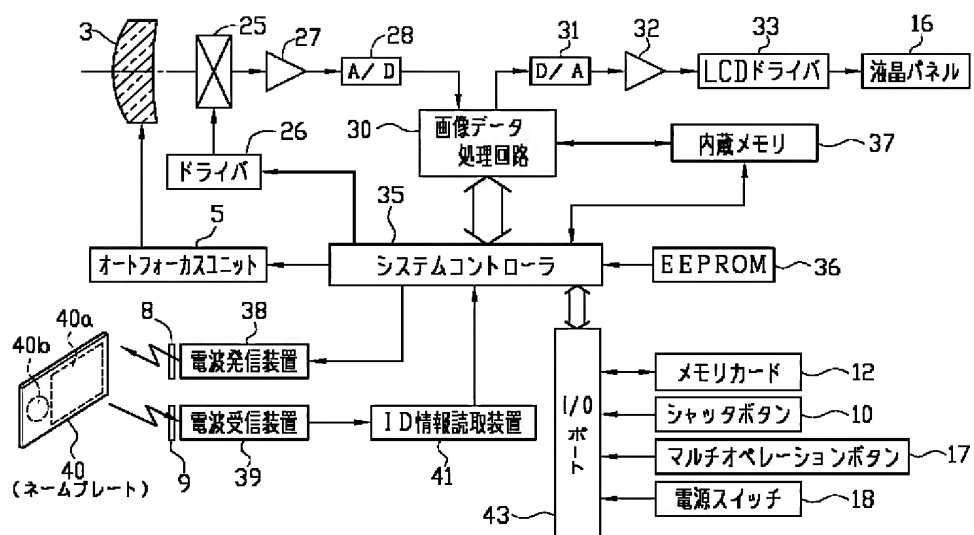
【図2】



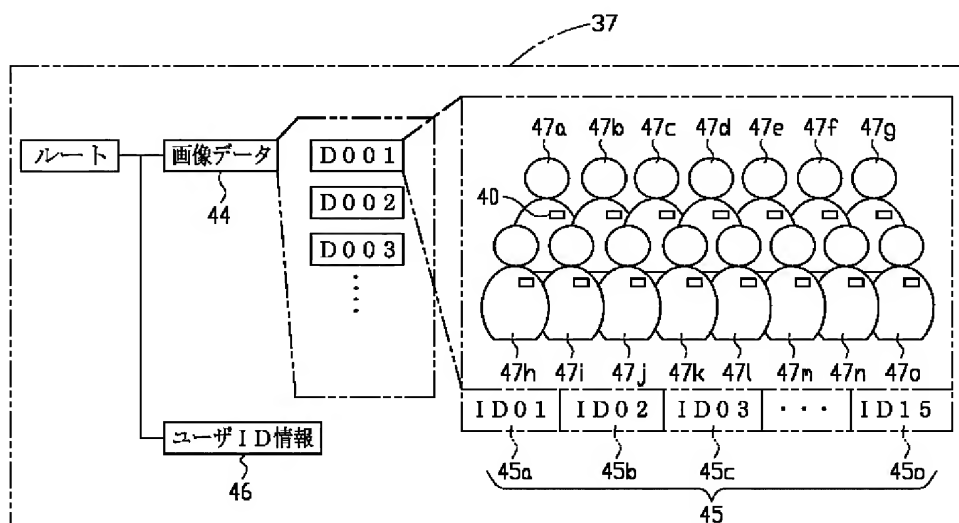
【図5】



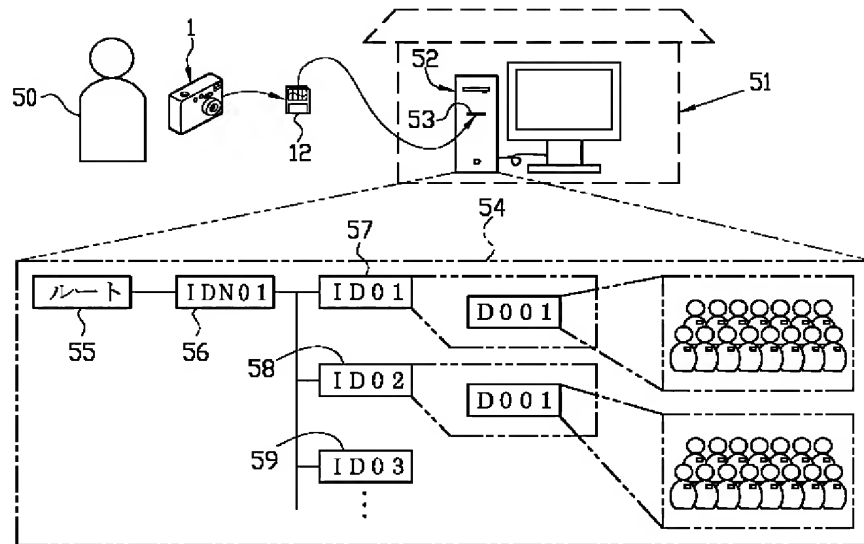
【図3】



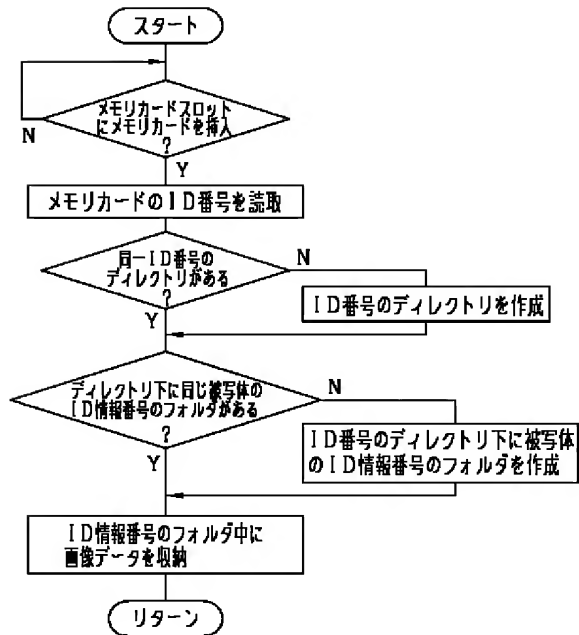
【図4】



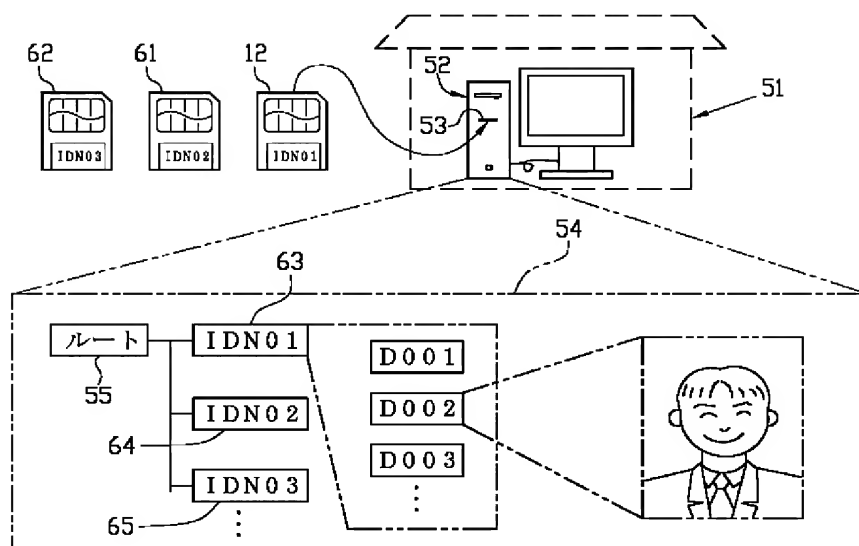
【図6】



【図7】



【図 8】



フロントページの続き

(72)発明者 坂本 浩一
埼玉県朝霞市泉水 3-13-45 富士写真フ
イルム株式会社内

(72)発明者 芦田 哲郎
埼玉県朝霞市泉水 3-13-45 富士写真フ
イルム株式会社内

F ターム(参考) 5B082 EA07
5C022 AA13 AC42 AC69
5C052 AA17 AC08 DD02 GA02 GA09
GE08

PAT-NO: JP02003069935A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003069935 A
TITLE: METHOD FOR CLASSIFYING AND
STORING IMAGE DATA
PUBN-DATE: March 7, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKEMURA, KAZUHIKO	N/A
ICHIKAWA, KOJI	N/A
SAKAMOTO, KOICHI	N/A
ASHIDA, TETSUO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
FUJI PHOTO FILM CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2001253520
APPL-DATE: August 23, 2001

INT-CL (IPC): H04N005/907 , G06F012/00 ,
H04N005/225 , H04N005/228

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To automatically classify
and store image data without the need for
troublesome labors.

SOLUTION: When a memory card having a tag of image data with object ID information written thereto is inserted to a memory card slot of a computer, the computer reads the ID number unique to the memory card, checks whether or not a directory with the ID number exists under the root directory of a built-in hard disk, and creates the directory when not in existence. The computer creates a folder by each object ID information number under the directory with the ID number and stores image data respectively in each folder. When the hard disk has already folders by each ID information number, the computer stores image data to each folder. Thus, the computer automatically classify the image data and stores the classified image data by each memory card of customers and each object to the hard disk, and a user can quickly retrieve, extract and utilize image data depending on the ID number unique to the memory card and the ID information of the object.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO